

Monju.TIMEZ

文殊ノ会 会報誌

Topics.

9

2025 年
月号

最低賃金
1,500 円時代に
備える経営戦略

❖ 文殊ノ会

Monjunokai as a Platform in Kobe

Topics.

最低賃金 1,500 円時代に 備える経営戦略

1. 人件費増加への備え：数字を“見える化”

最低賃金の引き上げは、人件費の増大を意味します。まずは現状の人件費構成を把握し、売上・利益とのバランスを数値化しましょう。給与計算の見直し、雇用形態の多様化（短時間雇用・業務委託）も選択肢に。固定費と変動費を分け、どこに調整余地があるかを確認することが第一歩です。

2. 生産性を高める仕組み作り：IT と効率化

人件費上昇に対応するには、「少ない人数で同じ成果」が必須です。クラウド会計や予約管理ツール、在庫管理システムなどの導入で業務を自動化。チャットボットや SNS 自動投稿なども時間削減に効果的。神戸市では IT 導入補助金なども利用可能なので、今から調べて活用を検討しましょう。

3. 価格・サービスの見直し：付加価値を高める

コスト増を価格転嫁できる事業は強いです。商品の付加価値を高め、価格を上げて選ばれる理由を作りましょう。例えば、地域色の強いサービス、限定性や体験型コンテンツを付加。小規模事業ほど「強みの再定義」と「差別化」が重要です。顧客アンケートや SNS を活用した市場調査も役立ちます。

4. 資金と人材の確保：外部リソースを活用

最低賃金の上昇期には、資金繰りや採用も課題となります。神戸市や国の補助金・助成金制度、低金利融資などを活用し、資金面の備えを確保。あわせて、従業員教育で生産性の高い人材を育てましょう。パートナー企業や外注の活用も、リスク分散として有効です。